

令和7年10月1日

立教188年

10月号
第637号



発行所

天理教字仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

10月24日 大教会秋季大祭 世話人先生お入込

10月25日 第99回 天理教青年会総会



大教会毎月団参 (9月)

散歩道

あまりの夏の暑さを感じた今年は、秋がやってくるのだろうかと心配になった。米が収穫をされるようになる、秋は着実にやってきていて、その気配を感じるようになって。みなさん、お米の高騰を心配されている頃▼ネットを検索すると、ナスとピーマンは、隣に植えない方がいいようだ。しかし、今年もピーマンの隣に植えたナスは、元気に育って大きなナスが今もなっている。梅雨が短く、暑い夏が続く、水不足も心配されたが、根がしっかり育つようにと根に水を欠かさず育てた結果、ナスもピーマンもしっかりと根を張り暑い夏を乗り切り、秋になっていよいよ元気に実をならせている。教祖は、農事に例えて、いろいろと教え下さった▼「根ざしの良い方へ、枝は栄える。」根を育てることが、枝を育て、実のなる枝を育てる。根を育てることが、元気な野菜作りとなる。ナスもピーマンも根が育てば、いつまでもしっかりと実をならす▼種をまく、白菜、大根、ホウレンソウ、旬を逃さずに。教祖百四十年祭への残り僅かな日に、布教推進月間の合間を縫って。

一理塚

「あの人はついている」とか「あの人はもっている」とか

という言葉たまに聞くことがあります。たいていは「運のよい人」という意味で使われていると思います。今、その最たる人といえば、大谷翔平かも知れません。彼のことを「運の悪い人」だと言う人はまずいないでしょう。では、彼は何が「ついている」、何を「もっている」のでしょうか。もちろん一言でいえば、それは「運」ということになるのでしよう。じゃあなぜ彼は「運」を持っているのでしょうか？

大谷翔平がグラウンドなどでよくゴミを拾うというのは有名な話で、その理由は高校時代の監督から「ゴミを拾うことは、人が落とした運を拾うことで、自分にツキを呼ぶ」と教えられたことによる、というこれもまた有名な話です。

善行をすれば、回りまわってまた自分に返ってくるというこ

とになるのでしようが、彼が言うにはただそれだけでなく、小さなことにも気が付くようになり、集中力や気づきを養うことになる、のだそうです。

とすると、「ついている」のは「気」かも知れません。そしてたゆまぬ努力と、目標に向かって積み重ねてきた自信を「もって」いるのに違いありません。

「憧れるのを止めましょう」と言った本人が、今や世界中から憧れられる存在です。足元にも及びませんが、我々もまた、人の落としていく運に気づき、それを拾い上げていく努力を積み重ねて、神様に「ついてもらい、信仰を「もって」いる人だと言われるようになりたいものです。

ところで、以前ある先生から聞いた話ですが、人の幸せというのは概ね次の五つの要素から成り立っているそうです。それは『お金、仕事、身体、家族、人間関係』の五つです。

全て揃っているという人は最高の幸せ者で、それこそ「もっている」人に違いありません。

けれど大抵の人は、どれか（あるいは複数の）満足できない要素があつて、それが気にかかる故に幸せだと感じないようです。

ただ、感じ方は千差万別で、お金が無くても健康だから幸せだという人もいれば、お金はあるのに家族や人間関係が壊れて悩んでいる人もいます。また、どの要素一つとっても、どこまでが幸せで、どこからが不幸だという基準がありません。五つの要素はそれぞれ連動し合っていて、「無い！無い！」と思いはじめると、本来有るものまで失われていきます。まさに負の連鎖です。一つでもまあまあ満足できるものがあれば、人は充分幸せを感じることができると先生は言います。

私の知人で、健康を害して仕事もお金も失い、家族もバラバラになつて、死に場所を求めてさまよっている時にふと教会の門をくぐったという人がありました。その会長さんに導かれるままに修養科に入り用木となつて、今では復職した上に新しい家族まで出来、勇んで教会に

日参していると聞きました。とてもおちばがえりに連れて行つてもらったのを思い出したことが救かるきっかけでした。

『八方ふさがつても、天だけは開いている』とお教え頂きます。幸せの六つ目の要素、最後のピースは『神様』ではないでしょうか。

『たんたんよふぼくにてハコ
のよふを はしめたをやがみな
入こむで』（第一五号六十）
私の好きなおふでさきの一首です。

私達よふぼくにはもれなく『をや』が「ついてもいます。無いものにとらわれず、有るものに喜びを求め、安心して『をや』にもたれて通らせて頂きたいと思ひます。私たちは「ついても」いるのですから。



少年会 ～夏のつどい さんさいの里キャンプ～

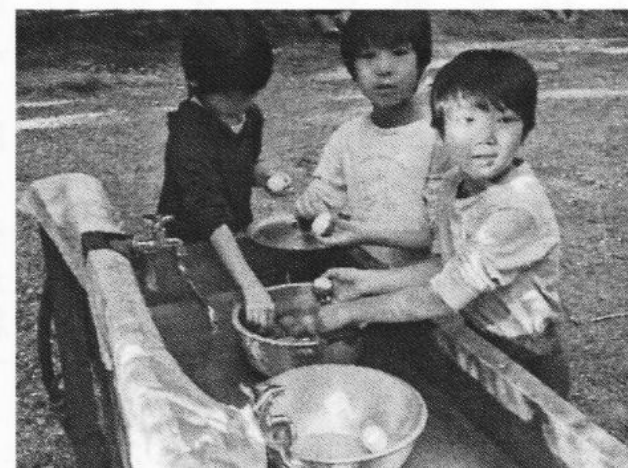
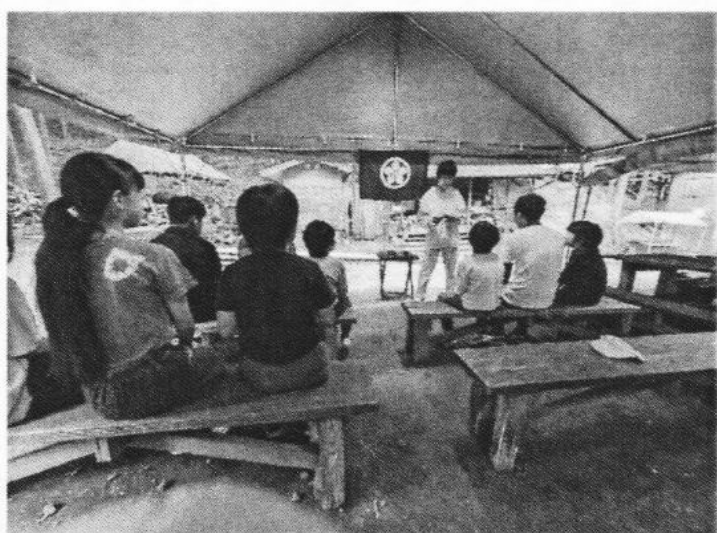
少年会宇仁団は8月21日～22日にかけて、天理教少年野外活動センター「さんさいの里」にて夏休みキャンプに参加しました。参加者は少年会員10名、育成会員7名でした。

本部参拝の後、詰所で昼食を頂き、奈良市にある「さんさいの里」へ向かいました。

「たすけあいと創造」をテーマに、自然の中でみんなで火起こしから料理をしたり、屋外ゲームやクラフト、キャンプファイヤー等のプログラムを体験したりする中に、子ども達の成長を感じる事が出来ました。

また、普段の生活より少し不自由な環境の中でこそ親神様の火水風の御守護のありがたさを改めて実感する事が出来ました。

少年会本部のスタッフの皆さんも温かく迎え入れてくれます。ぜひ皆さんも一度ご参加下さい。



布教推進講話

(八月二十四日)



八月月次祭祭典講話に振り替えて布教推進講話が行われ、講師の那美岐大教会部族廣関分教会長近藤栄一先生の布教体験談を聞かせていただきました。天理教嫌いであつた先生が、教祖のお計らいで自教会に戻つた時、「一言のにをいがけが、人の運命を変える。それは、をやの声を聞く時、心の向きが変わるからである」この言葉に感銘を受け、毎日布教に歩かれるようになられ数々の不思議な出会いをお話しくれました。

道中の悟りとして、せつかくたすかつて、たすからなくなつてしまふことが相手にも自分にもある。その心のブレをなくすには「人を助けて我が身たすかる」すなわち人を助けるために一言のにをいがけをしないと始まらないと布教の重要性をお話しくれました。

「教祖お一人から始まつたこの道」と諭達に記されているように、このことを思い出しては自分を奮い立たせていると締めくくられ講話は終了しました。

布教推進講話(講師：近藤栄一先生)の講話の内容は左記のQRコードからアクセスしていただくとお聴きになることができます。



全教会布教推進月間

布教研修会

毎年九月はにをいがけ強調の月と位置づけられており、昨年と今年は教祖百四十年祭活動の取り組みとして、「全教会布教推進月間」と銘打って、一歩一つに世界たすけの歩みを進めようを合い言葉に教内の全ての教会が世界だすけの拠点となつて、一人でも多くのようばくがにをいがけ実動することが促されました。

宇仁大教会としては、本年八月二十四日から九月二十三日を推進月間と定め、各教会が設定した布教日程に基づいて一日でも多く布教日を設け、一人でも多くの実動ようばくを丹精することと呼ばけました。

更に、この全教会布教推進月間の充実をはかるべく、九月九日に大教会を会場として「布教研修会」を開催しました。当日は西村一郎先生(兵神・八生兵庫分教会長)を講師として迎え、布教とは、布教の必要性、布教の仕方などについての講義

を受け、西脇市内での布教実動を行いました。実動後は西村先生への質疑応答の時間も設け、日頃のにをいがけ・おたすけに関する質問に西村先生には一問一答分かりやすくご回答頂き、非常に内容の充実した研修会となりました。



『教祖と歩む三年千日』 教会布教実動報告

久樹分教会会場

会場 教会

内容 戸別訪問

所感 日々日差しの続く中、なかなか歩かせて頂く事が出来なく、教会に来て下さる方にリーフレットや時報などを手渡し、少しでも、一言でもとお話をさせて頂いております。

教祖百四十年祭三年千日に

向かい定めた教会で集まって頂ける場を月三回取り組むなか、別席者、おさづけ拝戴者などの不思議な御守護を頂き中席者の方々がお互いに声をかけ合って下さり年祭に向け楽しく歩ませて頂いております。

教祖百四十年祭

大教会一斉団参

日程 立教百八十八年十一月九日(日)

午前十一時三〇分 本部お願いづとめ 東礼拝場

午後十三時〇〇分 おかえり講話

講師 福江弘一先生 (郡山・周海分教会会長)

場所 東右一棟 地下合併教室



鴨ノ國分教会五代会長に

松尾倫浩氏が

お許しを戴かれる

去る八月二十六日のお運びにて、鴨ノ國分教会五代会長に松尾倫浩氏がお許しを戴かれまし

た。
氏は、昭和三十六年三月生まれ。昭和五十四年一月、おさづけの理拝戴。今年七月に修養科修了。

なお就任奉告祭は十一月二十九日に執行されます。

第九十九回

天理教青年会総会

オンライン受付について

第九十九回天理教青年会総会は昨年と同様にオンラインでの受付を行います。

昨年の九十八回総会時にオンライン受付をされた方は、ユーザ登録の必要はありません。総会当日、受付のQRコードを読み取ってください。

ユーザ登録を事前に済ましておくと、当日はQRコードを読み取るだけで受付が完了致します。事前登録は左記のQRコードからご登録できます。

総会当日、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



日時：立教百八十八年

十月二十五日(土)

場所：本部中庭

大教会毎月団参 実施報告(九月)

九月の毎月団参が十四日、薄曇でしたが蒸し暑くまだまだ残暑厳しい中、実施されました。

十一時三十分お願いづつめの後、教組殿、祖霊殿参拝、東礼拝場前で記念写真。詰所でおいしいチキンカレーを頂いた後、十三時十五分より午後の行事に取り掛かりました。

九月は布教強調月間の為、天理駅前での布教活動と、詰所ひのきしんの二つのプログラムを実施しました。



駅前布教では路傍講演、チラシ配り、神名流しを二十名の方がつとめて下さいました。路傍講演に挑戦する中学生の参加者もあり、皆さん勇んでつとめて下さいました。

詰所ひのきしんでは、詰所南側のエアコン室外機の清掃と、遮熱カバーの取り付け。洗濯干し場の除草。食堂、洗面所等の清掃をして頂きました。終日賑やかで勇んだ一日となりました。

九月十四日(日)

参加者	六十五名
駅前布教	二十名
詰所ひのきしん	二十三名
別席者	三名

○十月の毎月団参のご案内

(日時)

十月十九日(日)

十一時半 東礼拝場集合

(内容)

本部お願いづつめ参拝

午後 詰所ひのきしん

または、修養科下校
ルートゴミ拾い

～宇仁詰所よりお知らせ～

- ・7月に「ごく」を千個下付して頂きました。ぜひ、おたすけにご活用してください。
 - ・宇仁詰所のFAX番号を電話番号と一緒にさせて頂きました。
- TEL/FAX:0743-63-5391 となります。
よろしくお願いします。



十月開催の毎月団参についてのお問い合わせは
十月担当(田尻圭右:090-6053-3426)まで
また、詳細は左記のQRコードからご確認ください。

おちば通信 八月のごき

◎初席者

國延

宮田 梓
中尾 悟

◎修養科修了

豊原

高島絵美

◎教会長 事情お運び

鴨ノ國

松尾倫浩

◎七月帰参者

(詰所調べ)
二四四名

十月行事予定表

6日	青年会例会
9日	婦人会例会
15日	布教実働日
19日	少年会例会
24日	宇仁大教会毎月団参 午前十時三十分執行
25日	天理教青年会総会
26日	本部秋季大祭 午前八時執行

婦人会より

◇大教会炊事当番

10月 豊原
11月 神福A
12月 直属
よろしく
お願いします